

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第85号

都市デザイン学部
地球システム科学科4年
長野県諏訪二葉高等学校
(長野県)

地球科学の楽しさを伝えることにやりがい



展示をきっかけに進路変更

幼い頃から博物館に連れて行ってもらったことが多く、地元である茅野市八ヶ岳総合博物館で展示を見ることが楽しみでした。高校の選択科目は、化学と生物にしていました。当時は遺伝子に興味があり、生物系に進もうと考えていました。進路を変更するきっかけが、高校2年の春休みでした。新潟県にあるフォッサマグナミュージアムの奥にある大型の映像展示に目が留まりました。日本海の形成史の映像を見て、その瞬間から「これをやるしかない！」という気持ちになりました。高校3年になるタイミングだったので、周りの友人はほぼ進路の方向性が固まっている中、それまで考えていた進路から方向転換しました。

海と山のある環境で研究

地元である長野県には海がありません。地学を学ぶ上で、海も山も研究できる環境が良いと考えました。高校3年生の8月に富山大学オープンキャンパスに参加しました。地球システム科学科では、各研究室の学生が研究室の紹介をやっていました。火山、古生物、雪氷の研究の話に惹かれました。前期日程の二次試験に生物があり、これまで学んできた分野を活かせることも良いなと思いました。富山大学の都市デザイン学部地球システム科学科を受験し、進学することを決めました。

火山学はロマン溢れる学問

高校で地学を学んでいないからと言って、大学で遅れを感じることはありませんでした。2年次から少しずつ専門的なことを学び、「地球の熱が地下から上がって噴出する」のを目でリアルタイムで見ることが出来るところに、火山学の面白さを感じました。学科の中では、岩石、古生物、気象などそれぞれの興味のあるフィールドで研究を極めようという人が多いです。私は、自然のものや物質として残っているものから分析していく過程にロマンを感じています。

ワークショップに手ごたえ

2年次に学芸員の資格取得の必修科目の中で、「富山市立図書館でワークショップを開きたい人はスペースが使える」と案内をもらいました。友人と二人で、「**地質学を身近に感じてもらう**」をテーマにワークショップを企画しました。日本各地の砂を集め、地域ごとの砂に含まれる石の違いを見てもう内容にしました。今年も機会に恵まれ、6/27(土)に「**火山の中ってどうなってるの?**」をテーマに、火山の噴火の様子を簡単な実験で子どもたちに見てもらおう予定です。今年は受付初日に満席になりました。一から自分たちで企画が出来ること、実際に実験をして仕組みや違いを見てもらって、「どう思ったか」を問いかけて進めていくことに手ごたえとやりがいを感じています。



学芸員を目指して研究を続けたい

現在大学院進学のため、勉強中です。博士前期課程を修了したら、科学館の学芸員として幅広い年代の人に地球科学に興味を持ってもらえるような活動をしたいと考えています。実験や展示を通して、興味を持ってもらえるきっかけづくりに尽力したいです。

母校の後輩たちへ

一番伝えたいことは「やりたいことを諦めないでほしい」ということです。私は急な進路変更で色々苦労しましたが、今では本当に学びたい分野を選んでよかったと思っています。迷いがあるなら、まずは一歩踏み出してみてほしいです。